

バトル部 VS プラモ部

部員を賭けた肉弾戦

基本CG 17枚

差分 52枚

合計 69枚

トライ
フマイターズ




いやっ…
アナタたちっ…
離してっ!!

グッ
ホシノ先輩
そんなに焦らないで
くださいよお

ふざけないでっ
ミヤガ先輩っ!!
どういうつもり
ですかっ!!





ホシノ君：
君が選手権に出る為に
人数を集めてるみたいだからね

我がプラモ部が
協力してあげよう
と思ってね

協力って…
それならこれは
何のつもりですかっ!!

ああ…
それはちゃんと話を
聞いて貰おうと思ってね

実に簡単な話さ
我がプラモ部とバトルをして
君が勝ったら好きな部員を
使ってくれてかまわないよ

えっ!?!?
本当ですかっ
ミヤガ先輩?

ああ...本当だとも
さあホシノ君
どうする?

わっ わかりました
受けますっ!!!

きつとそう言ってくれ
と
思っていたよ...

やるならはやくして
くださいっ!

誰から相手をするか
選ばせてあげようじゃないか

それならミヤガ先輩
あなたからよっ!!

あっはっはっ
嬉しいね...
僕をご指名とは...

君っ

はいっ



きやあっ!!
何するの・・・
離してっ!!

グッ
おおっ・・・
さすがはホシノ君・・・
僕の目に狂いは
なかったみたいだ・・・

やめてっ!!
やめてっ!!
やめてっ!!
私バトルを
したいんですっ!!



フンッ
何を言ってるんだい？
バトルならちゃんとするぞっ
生身でねっ！！

どうやらホシノ君は
まだスタンバイ
出来ていないようだね
君…少し手伝って
あげるといい…

へへへ…
それじゃあ
お言葉に甘えて

あっ…いやっ…
気色悪いっ…

なっ
何言ってる…





それじゃあ
お望み通り
僕から相手をしよう

ひっ…
なっ…なによ
これ…

いやあゝ
喜んでくれてる
みたいで嬉しいよ

だっ誰が!?
私…帰りますっ!

いっ

びん

びん

ん



おっと…
もうバトルは始まってるとんだ…
決着がつくまで帰れる訳
ないじゃないか
ホシノ君？

こんな卑劣なバトル
する訳ないでしょ…
きゃあ！！

人聞きが悪いこと
言わないで欲しいね



ほおくらっ
ホシノ君…
君もバトルしたく
なってきただろお？

いやっ…やだあ…
きっ汚いのよっ
このっカマキリ男！！

せっ先輩に向かって
その口の利き方は
頂けないなあ…

ひっ…
ほっ本当のことですよ…

あつ…
んんぐ…

どうだい？ホシノ君…
僕のチンポは？

いぎぎっ…！
やだっ動かないで…
裂けちゃう…

ズブッ

んん

何を言っているのかな？
君の望んだバトルじゃないか？

ちっちがっ
んあああっ…！



フンツ：元はといえば
君が僕の好意を無に
したのが悪いんだよ

勝手なことつ…
言わないで…
こんなやり方…
卑劣よっ!!

いつまで大口を叩いて
いられるか見物だね…

ちよ：
そんな汚いの…
あっ…んぐっ!!





僕が手取り足取り
教えてあげよう
じっくり・・・
ねっとりとねえ・・・

あぐっ・・・
だっ誰があなたみたいな
人にぎぎっ・・・んああ

ああ・・・
君のマンコは
僕のチンポの入部を
歓迎してくれてる
ようだが？

ガクッ

クソッ

ゴッ

グッ

あなたが：
無理矢理私の中に
入ってきてる
だけじゃない…

フンツ：
ムリしちゃって・・・
まあそういう意固地な
ところも魅力的なんだけどねえ





気持ち悪いこと
ばっか…言わないで…

気持ち…悪い…？
やはり僕の愛液を
たっぷり注ぎ込んで
あげないと君には
伝わらないようだね…

んあっ…
いっ痛いつ！！
動かないでえ…

カクッ

カクッ

カクッ

カクッ

んんん
ふっ…ふっ…
ほおら…出るぞお
しっかり受け止めて
くれよお？

あ…んああ…
いっ…やあ…
だめ…はやく…

んおお…
んふっ…ふっ
ほおおっ！



ちよつ・・・ちよつと・・・
まさか：中に・・・
出したの？

人間きが悪いなあ
事前にちゃんと
言ったじゃないか？

ちよつ・・・やだ・・・
えっ・・・

ああ・・・
ホシノフミナ・・・
僕の子を
孕むんだよ？



ミヤガ先輩
いきなり中出しっすか？
最後にしてくださいよお

ん？
ああ・・すまない

仕方ないっすね…
じゃあ俺はフェエラに
しときますよ

ほらホシノ
啜えろよ

んぐぐっ

ガグ

ガグ

おいおい
何やってんだよ？
もっとしむしやぶり
つけよ

んぶっ
調子に乗らないでっ…

ああ？

グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ





何だって？おい！？
調子に乗ってんは
お前だろ

んぐっ…

こうやって
しゃぶるんだよ！！

おえっ
んん…

ガッ

ガッ

アッポッ

ガッ



エロい体しやがってよお
お前と同じクラスになってから
ずっとこうしたかったんだぜ？

んぐっ
あなた：：なんか
知らないわよ：：

：：
くっ：：
クソツタレがああ：：

んんっ

グッ



おぐ…
ごめんな…
んぐぐ…

もういい…
お前は黙ってる…

ん…
んぶ…

くそっ…
くそっ!!

ググ

ググ

ググ

ググ

ググ

ググ



おい：くっ
出すぞっ…

全部飲み込めよ
この肉便器がっ！！

ん…
んぎゅ…んぎゅ

大丈夫ですか？
ホシノ先輩？

ひっく…
あ…ありがとう
ええ…大丈夫って訳じゃ
ないけど…

それならよかった…
まだ後がつかえてる
んですから…

えっ…？
ちょ…待って
んああ！

アッ

アッ



あぁっ…先輩のマンコ
凄いですよ…うっ…
僕のチンポに絡み付いてきて…

あっあん…
やっやめてよっ…

グ
じっくりやるより
激しいほうが
好みでしたか？

ちっ違うっ
そうじゃなくてええ

ズ
ズ

グ
グ
グ

いやあくこんなバトル
だったら部に残って
ましたよお

ふっ…ふざけないでっ
こんなのバトルなんて
言わない…
ひあ…あぐ…

おおっ…
怖い怖い…
アンアン言ってるほうが
可愛いですよ
先輩は…





くああっ：
あっ：
だ：駄目ええ！

ああすいません…
じゃあ痛くならないように
僕の精子も入れときますね

くっあはっ：
いっ痛…
そんなに乱暴に
しないで…



もう...
嫌っ!

駄目って
言ったのにいい...

これでこの後も
少しは楽になるし
いいじゃないですか



おお？
さすがは部長さんだ
飲み込みが早いじゃねえか
一人で練習でもしてたのか？

そっそんな訳
ないでしょ…

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ゴッ



マンコのほうも
すんなり入るわりに
ぐいぐい吸い付いて
くるしなあ...

いい肉便器に
なりそうだぜ？

にっ肉便器って...
ぶほっ...!



怒ることないだろ？
褒めてるんだぜ？

そうそう
うっ…！！
こんなにすぐ
イけるマンコは
初めてだしなあ

んぶっ…
はっはあ？

グッ

グッ

グッ

グッ



どうせ今日の間
に
孕むんだから
焦ることないだろ？

まあ：
誰のを孕むかは
知らねえけどなあ

グッ

グッ

グッ

グッ

ああ：ホシノさん…
僕：今日のこと
わかってたのに
教えられなくて
ごめん…

あっあなた…
私に告白して
くれた人よね…？

好きだよっ
でも…付き合えないなら
せめて…
一回くらいやりたいじゃないか



あっ：んぐっ
それは
そうだけど…

ホシノさんだって
好意を持たれてる
相手のほうが
いいでしょ？



はっああん…
いやっ
ビクビクしてる…

ちゃんと僕のも
受け止めてよ？
ホシノさああん

僕が：一番
ホシノさんを
好きなんだっ！

わかってくれて
嬉しいよ…

まったく…
最近の若者は
見ておれんな…

ラ…ラルさん！？
助けて…
うああっ！

お前たち…
よく見ておくが…



あっ…んあ
ラルさんっ

おおっ！
なんか気持ち
よさげだ…

ふっふっふっ
年季が違うのだよ
…くっ…
年季がああっ

ヌ

ガ

ガ



ああ…だめえ…
やだ…声が…
あっあん

ココを擦られるのが
好みのようだなっ
ふんっふんっ…

ひああっ

おお…
さすがはラルさんだ



まっ待って……
今は……まだ……
ユ……ユウ君……!?!?

安心していいですよ
僕のチンポで
もっと気持ちよく
してあげますから

そうじゃなくて……
どうして
ニ……ニ……



それは……
言う必要は
ないですっ

まっまだ……
ふああ……
ユウ君……んああっ





おいおい
浸ってるところ
悪いけどよ...

まだバトルは
終わってないんだぜ？

やっやめて..
ユウ君で最後に
...あああつ

グムッ

ム

アハハ



ははっ
まだ嫌がる元気が
残ってるみたいだなあ

俺は嫌がってる女を
犯してるほうが
興奮するんだよなあ

あぐっ…くっ…
この変態…

ズブッ

グッ

ん



ああ…いいぜ…
もっと罵って
くれよお…

俺の精子を
お前の糞マンコに
たっぷり注いで
やるからよお…
ヒヒヒッ

あ…んぐっ
誰があなたみたい
な人に…あう…

グズッ

ズッ

アッ

グズッ



どうした？
もっと抵抗しないと
お前の中に出ちまうぞ？

ぐっ…んん
体に力が…
ああ…

ちっ…
メスの本能には
逆らえないってか？
ならお望み通りに
中に出してやるよっ

もう・やだっ
ひっく……?
先生?

おや?
ホシノ……
先生のチンポが
欲しくなったのか?

ちっ
ちがっ……

ははは
何も言わなくても
わかってるよ





しかし…先生を誘って
くれないなんて
寂しいじゃないか

あっ…
んぐう…
先生…

ああ…そうか
今から先生を呼びに
くるつもりだったんだな？
そうだろう？

ホシノの気持ちには
気付いてたからなあ

な：何言って
ああっ！

うんうん
ホシノみたいな生徒と
エッチ出来るなんて
教師になったかいが
あったものだ



やはり若い子は
マンコの締りが
違うなあ…

先生…あつ

んぐっ…ああ
先生ももう
いきそうだ…
今…出して
あげるからな？

あつうぐっ
んんあ





何を言ってるんだい？

いやあ、ホシノ君
この人数相手に
頑張ったじゃないか

はっ：はあ…
そ：それじゃあ…
私の勝ちって…
こと：ね？

ア
ア



そんな訳ないだろう？
ほら早く初めようじゃ
ないか：ホシノ君

あなたたちの
相手はもう
終わったんでしょ？

あっはっはっ…
たった一度バトルを
したくらいで
終わるとでも
思ってたのかい？



ならば…
バトルを挑まれたのなら
受けて立つべきだろう？

くっ…
そっそれは…

そっそう…
うぐっ

ホシノ君？
君はガンダムビルダ
なんだろう？

んぐっ…
そんなこと
聞いてない…

アッ

アッ


アッ

それに身をもって
わかっただろう？

一生懸命作った
作品を戦わせて
負ければ壊れてしまう
様な競技はナンセンス
だということを...

ちっ違うっ
私はだた...
んぎいっ





あぐっ…
もう壊れちゃう
んぎぎっ

安心したまえ
僕たちはプラモ部だ
バトルを楽しみながら
ホシノフミナという
作品を完成させて
あげよう

だっだめ…
本当に…もう…

大したことはないさ
もし仮に壊れて
しまったとしても
僕が治してあげるさっ

あぁ…
許して下さい…
ミヤガ先輩っ



お願いだから
もうやめて…

ホシノ君…
泣いたからといって
ここでやめる訳
ないだろう？

君とのバトルは
胸が躍るほど
楽しいよ





あああああ〜痛いっ
もう：：イってるっ
イってるからああ

くっ：
あああ
イクぞおお

しっかり味わって
くれよおお
んぐぐ



んはっ…
あっ…イイツ
イっっちゃう…

おい…
マンコおかしく
なったんじゃないか？

あはあ…
あなたの臭い精液
頂戴…

びしょ

びしょ



あはっ
あ：・臭いのっ
臭い精子：：
かけられてるよお

仕方がないなあ：：
ほらっホシノが
欲しがってる先生の
精液かけてあげるからな



いい感じに
ぐちよぐちよに
なってるな

エロいマンコだな
まだ啜え足りない
なんてなあ

ふざけないでっ!
そっそんな訳
ないでしょ!



…っ

くっくっくっ
どうした？
いららないんじや
なかったのか？

マンコのほうは
入れられたがってるぞ？

知らないわよっ…

ん…



勝手に…んっ
決め付けないで…

ほお？
じゃあこの
エロい音は
なんなんだあ？
気持ちいいんだろ？

素直になった
ほうが楽だぜ？

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ



こんなこと
やめてくれたら
楽になるわよっ…

まったく…
いけない子猫ちゃんだ
まだまだ躰が
足りないようだ…

あんっ
あっやああっ



そろそろ
俺の気持ちよく
してくれよ

わかったから...
手でもいいでしょ？

ああ
かまわないぜ？

ん
ん
ん

ん

ん



え……？
ビクビクしてて
汁が……
すごいけど……

そうそう……
ちゃんとチンポを
見つめながら……
ああ……いい……
どんな感じだ？



お前の手コキが
気持ちよくてもう
イクってことだよっ

きやあっ！
……っ

おいおい…
下に垂らす
んじゃねえぞ？
んぐう！

あっ…
精子が…
漏れちゃうよお

ほらっ…
しっかりみんなに
見せてやれよ
お前のマンコをよ



ガンプラバトル部
部長のホシノフミナです

これを見てくれる
くっさいチンポ
大きくしてるその君…

私のマンコに
体験入部からでも
いいので興味の
ある人は部室まで
きてねっ

